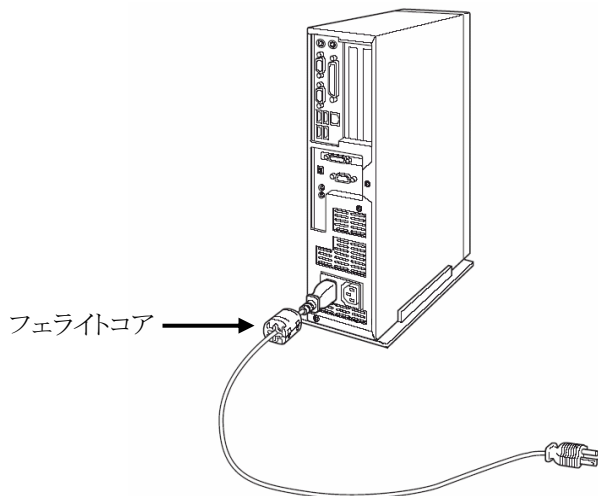


ご使用になる前にお読みください

このたびは、弊社の FMV-1260FA1S(以降、本パソコン)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本紙では、本パソコンをお使いになるうえで知っておいていただきたいことを記載しています。本パソコンをお使いになる前に本紙をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ 使用方法に関して

- 本パソコンにはフェライトコアが添付されております。電源ケーブルに以下のように取付けてください。



- 電源コードの 3 ピン-2 ピン変換プラグを使用する際はアースを必ず接続してください。
- オプション機器を接続する際は、人体の静電気を除去するため、パソコン本体背面の金属部分に触ってから、パソコン本体にオプション機器を接続してください。
- アプリケーションによっては、関連するファイルを「セキュリティセンター」の「ファイアウォール」設定にて「例外リスト」に登録する必要があります。

【対処方法】

以下の手順で Windows ファイアウォールの例外リストの登録を行います。

1. エージェント側の「コントロールパネル」にある「セキュリティセンター」で Windows ファイアウォールを起動します。
 2. 「例外」タブの「プログラムの追加」をクリックします。
 3. 「参照」をクリックし、下記ファイル(デフォルト設定でインストールした場合)を選択します。
C:\¥P\WRSCH¥NT_SRV3.EXE
 4. 「OK」で例外リストの登録を追加します。
- ミラーディスク監視モニタなどのアプリケーションでポップアップ画面表示機能をご使用になる場合、「パフォーマンスとメンテナンス」-「管理ツール」内の「サービス」より、「Messenger」サービスを自動開始に設定する必要があります。

裏面もご覧ください ➡

- ネットワーク接続せずにお使いになる場合は、LAN のメディア検出を無効にする必要があります。LAN のメディア検出機能を無効にするには、添付のシャットダウンユーティリティをインストールしてお使いください。
- シャットダウンユーティリティは LAN 接続によるサーバとクライアントの環境下にてサーバ側からスケジュールにて電源投入切断する機能をもっています。FA パソコン単体でスケジュール運転される場合には、スケジュール電源投入はできませんので、電源投入設定は行わないでください。

■ お詫びと訂正

- 本製品に添付の取扱説明書に下記の誤記がありました。お詫びするとともに訂正させていただきます。

1. P.3 注意

誤) 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

正) 本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

2. P.9(1ヶ所)、P.15(3ヶ所)

誤) コンセント変換コネクタ

正) 3ピン-2ピン変換プラグ